

第4章 第4期計画の推進に向けて

1 とつかをこころんでいっぱい!

これまで、“多くの人にハートプランのことを知ってほしい”“みんなでハートプランに取り組みたい”という思いを大切にしながら、地域の皆様とともにハートプランの普及・啓発と、取組の推進に取り組んできました。

第4期計画も、地域の皆様と、事務局の「区役所」「区社協」「地域ケアプラザ」が両輪となって、目標に向けて具体的な取組を進めていきます。

区民の皆様が持つ「あったかな気持ち」をハートプランと結びつけ、「とつかをこころんでいっぱい」にしましょう!



2 推進状況の振り返り

(1) 各年度の振り返り

毎年度、取組状況の振り返りを行い、地域の皆様と事務局で共有して次年度以降の取組に反映させていきます。

(2) 中間期の振り返り

計画推進の中間年度である2023（令和5）年度中に中間振り返りを行います。振り返りの内容は計画期間後半の取組に反映させるとともに、第5期計画の策定につなげていきます。

3 振り返りのための3つの視点

第4期とつかハートプラン（区計画・地区別計画）を推進していくうえで大切なことは、結果や成果を出すことだけではありません。たくさんの方が参加して取組を進めていく、そのプロセスにも大きな意義があります。また、どの程度まで取組を進めることができたかを確認することは、取組への意識やモチベーションを高めることにもつながります。

第4期とつかハートプランにおいても、第3期と同様に、次の3つの視点を大切にして振り返り作業にあたっていきます。

視点1

地域にとってどのような良いことが起こったか

地域福祉保健の活動・取組の成果は数値で表しにくく、客観的に把握することが難しい面もあります。そのため、「地域にとってどのような良いことが起こったか」という視点で、具体的に振り返りを行います。

視点2

地域 みんなで積極的に取り組めたか

住民主体の地域づくりという観点から、「地域 みんなで積極的に取り組めたか」「これまであまり地域活動に出てこなかった人も参加したか」といった視点で振り返りを行います。

視点3

いろいろな人や団体と一緒に取り組めたか

多岐にわたる地域課題への対応や、連携の創出という観点から、「いろいろな人や団体と一緒に取り組めたか」という視点で振り返りを行います。

以上の視点は、振り返りの際のみならず、日々の活動に取り組むにあたって指針となる視点です。共通の視点を持って、第4期とつかハートプランを推進させましょう！

